

とういん

議会だより



平成30年7月20日

6月定例会

発行 三重県東員町議会

136号

災害時の備えは 4

町政を問う 5

委員会活動レポート 15

政務活動費の使いみち 16

一般会計
補正予算

平成30年度予算総額は

74億8654万円

554万円の増額

土地改良事業 540万円

東員駅周辺新市街地整備に関する調査・設計のための委託経費です。
補助事業施設（ガラス温室など）の耐用年数や評価を適正に行うものです。



主な質疑

問 東員駅周辺新市街地整備の対象面積となる37haの中で、農林水産省の補助を受けた施設はどこですか。

答（建設部長） 主に農業用配水のパイプラインやガラス温室になります。

6月定例会は、6月1日から14日までの会期で開かれました。
平成30年度一般会計補正予算や条例の制定など7議案を審議し、全会一致で原案のとおり可決しました。

幼稚園運営費 14万円

県の幼児教育推進事業委託を受け、有効な保育や環境づくりに指導や助言を行うアドバイザー講師の謝礼金です。



町道に認定しました

県道桑名東員線の改良工事に伴い、県道の一部が路線廃止され、町道に移管される計画のため、町道山田北大社線として路線認定するものです。



条例

東員町町税条例の改正

主な改正の内容は、地域の中小企業による設備投資促進のため、生産性向上特別措置法の施行の日から平成33年3月31日までの間に取得した中小企業の一定の設備投資について、3年間の時限的な軽減特別措置を設けるものです。

町たばこ税の税率について、平成30年10月1日から段階的な引き上げを行い、加熱式たばこについても国たばこ税と同様に、課税方式の見直しを5年かけて段階的に行うものです。

東員町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

学童保育所の放課後児童支援員になるための資格要件を明確にし、新たに5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって、町長が適当と認められた者を要件に追加しました。

主な質疑

問5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって、町長が適当と認められた者で、支援員の資格取得のための研修を1度受講すればいいのですか。また、支援員の定年制度はあるのですか。

答(子ども家庭課長補佐)研修は1度だけです。また、支援員の定年制度は各学童保育所によって定めています。



たのしいおでかけ(しろやま保育園)



平成30年第2回(6月) 定例会

審議結果	議案名	議員名													
		大谷勝治	片松雅弘	三林浩	石垣智矢	山崎まゆみ	近藤敏彦	島田正彦	南部豊	水谷喜和	鷺田昭男	川瀬孝代	三宅耕三	山本陽一郎	大崎潤子
可	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可	専決処分の承認を求めることについて (町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可	町道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可	東員町町税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可	東員町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可	東員町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
可	平成30年度東員町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

議長(-)は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対。



各議員のロッカーに備蓄

**災害時の備えは
できていますか**

災害はいつ起こるか分かりません。そこで東員町議会では議員個人負担で災害時の非常用備蓄食品を購入し、災害時に備えました。皆さん、災害時の備えはできていますか。

東員駅前開発事業については、6月27日に事業を凍結するとの発表がありました。

一般質問

町政を問う

1. 鷺田 昭男..... 6	1. 陸上競技場の利用について 2. 東員駅前市街化形成事業について 3. 高齢者対策について
2. 山本陽一郎..... 7	1. 行政について 2. 東員駅前周辺の開発計画について
3. 山崎まゆみ..... 8	1. 「就学前教育、保育、子育て支援」の充実について
4. 片松 雅弘..... 9	1. 地域共生型社会を目指す地域づくりについて
5. 大谷 勝治..... 10	1. 農福連携事業について 2. 防災対策について 3. 交通行政について 4. 道路管理について
6. 大崎 潤子..... 11	1. 農業について 2. 公務員制度について 3. まちづくりについて
7. 石垣 智矢..... 12	1. 火災時の対応について 2. 大豆による6次産業化の取り組みについて
8. 川瀬 孝代..... 13	1. 子育て世代包括支援センターの設置について 2. 新生児の健康について 3. 5歳児健診について
9. 水谷 喜和..... 14	1. 校歌の変更について 2. 町有地の除草対策について 3. 職員研修について

一般質問とは、町政財政全般について、町長の考えや疑問点を質す政策論議の^{ただ}ことをいい、定例会のみ行われます。

今定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。

過去の一般質問はこちらから

原稿は質問者が作成したものを掲載しています。



県審議会への結論は 事業計画提出を求めます



鷲田昭男

問

東員駅前市街地形成事業についてアンケート調査が実施されました。その結果と今後の対応を伺います。

また、今回の事業は平成31年7月に県の都市計画審議会に結論を出す必要があるとの説明でした。残り期間が1年余りですが間に合うものなのか伺います。

答

建設部長 この事業は、町の中央に位置する東員駅と、役場などの公共施設の間を中心とする区域を市街化調整区域から市街化区域へ編入することで、住居系を中心とした市街地形成を図ろうとするものです。

今回のアンケートは、編入予定区域37haの地権者157人を対象に4月に実施したものです。調査内容としては「土地の活用方法」や「区域内に東員第一中学校の移転計画」などについて意向調査をさせていただきました。回収率は77.1%

でした。土地の活用についての回答は「土地を売りたい」「自分の世代までは農地として利用したい」などでした。

今後の対応は、アンケートの回収率が100%でなかったことや「まちづくり」の考え方を理解いただくため、地権者への戸別訪問を行い、理解を求めているところです。

次に県の都市計画審議会が、来年の7月に開催されることから、それまでには確実に各種の手続きを終える必要があります。

時間的な制約がありますが、地権者の皆さん、地域住民の方々のご理解とご協力を得て進めていきます。

陸上競技場の使用料は

問

陸上競技場はこれまでで日本陸連公認の競技場でしたが、公認継続には競技場を大きく改修する必要があり、財政負担も考慮し継続をしないことになりました。これまでのように公認は取れませんが、利用者の方には従来の使用料を徴収するのですか。

答

教育長 東員町行財政計画検討委員会から「町内の公共施設の使用料の見直しについて」の答申があり、利用者の応分の負担を求めるとの考えから、平成21年度に料金改定を行いました。使用料の見直しはしません。



作付けされた駅前の農地

山本陽一郎



複雑な職制の見直しを

慎重に検討します

問

このところ町職員の名前、肩書きが大変複雑になっているようです。(参事、副参事など)その改編の目的と権限の推移や今後の行政運営への影響はどのようなのですか。

答

副町長 特定の事務に参事や副参事を充て専任とすることで、専門的な業務に関する判断や事

業の方向性の迅速な決定など、効率的に行うことが可能となります。組織としての意志決定がスムーズになると考えています。

社会情勢の変化による住民ニーズや業務の多様化、権限移譲による業務の増加などを受け、過去に比べ職制が複雑になっているのが現状です。しかし若干整理する必要があると考えています。

再質問(一問一答)

問

行政はシンプル・ザ・ベストであるべきと思いますが、職階制の抜本的な改革を求めます。



答

副町長 今年度の機構改革で、職階制の見直しを含め慎重に検討します。

駅前開発の進捗は

問

わが町にとって百年の大計ともいうべき本事業が開始しようとしています。これまでの土地所有者への説明会や今回のアンケート調査を受けて、本計画に対する成否について、どのような感触を得られているのか、今後の対応を含めての中間報告を求めます。

答

町長 用地の取得については造成費や商業エリアへの入居者の確保など、さまざまな要件をクリアしていく中で、現在事業者が買収価格などを含め積算しています。

さらに民間開発エリアでは、ほぼ全ての地権者の同意が必要であることから、事業者の作業と並行して、職員による全地権者への戸別訪問を実施しています。

問

本事業の成否は来年7月に予定される県の都市計画審議会の審査が重要であり、全庁的な取り組みが求められています。町長の政治生命をかけた覚悟と決意を伺います。

答

町長 本事業は行政、地権者、町民、事業者全てが、かみ合わない現実しない事業であり、その先頭に立って不転の決意で推進します。

再質問(一問一答)

保育士不足の解消は 待遇改善に取り組みます



山崎まゆみ

問 保育・幼稚園教育・子育てを充実するための取り組みを伺います。

答 町長 「16年一貫教育」の中で基本的信頼感と自己肯定感を育み、保護者の役割を明確にしながらい子どもが生きる力を身に付けられるようにしていきます。

再質問（一問一答）

問 待機児童ゼロをキープし、保育士不足を解消するためにどうしていきますか。

答 教育長 待機児童問題の大きな原因が「保育士不足」です。業務をなるべく減らし、書類の簡略化、仕事内容の軽減化を昨年度から少しずつ取り組んでいます。財政と連携して給与などの処遇改善に今後取り組みんでいきます。

問 養育困難な家庭を支援する「社会的養護」について、現状と対応を伺います。

答 福祉部長 町内で委託里親は2人、児童相談所入所児童は3人です。児童虐待などで保護を要する児童は17世帯で32人です。早期発見による支援の開始と適切な連携で専門機関につなげて対応をしていきます。

問 「子育て支援センター」の運営では、町民と行政の連携はどうですか。町民の力をどう活用していきますか。

答 生活部長 「おでかけ広場」などは自治会やボランティアの方にお世話になっています。住民ニーズ、地域の課題は多様化し行政だけでは対応しきれない状況もあります。町内の「市民活動支援センター」には子育て支援関連で10団体ほど登録があ

り、活動がそれぞれで異なります。子育て支援センターの業務を住民との協働や委託で担っていただけるのなら、知識習得のカリキュラムや必要なもののマニュアル化も今後必要だと考えます。

町長 子育ては行政だけでは難しいところがあります。地域の子育てを地域と行政と一緒にできることを目指し、必要な支援を行い「安心して子育てができるまちづくり」を進めていきます。



元気な交流で明るい子育て

※社会的養護とは
保護者の適切な養育を受けられない子どもを公的責任で、社会的に保護養育するとともに養育に困難を抱える家庭を支援します。

地域支え合いの推進は

全庁的に推進します

問 かつては地域の相互扶助や家族同士の助け合いなど、地域や家庭と

いったさまざま生活の中で支え合いがありました。しかし、近年では高齢化や人口減少が進み地域や家庭の支えあいの基盤が弱くなつてきています。孤立せず、お互いが支え合える社会が求められています。東員町では基本方針を「住み慣れた地域で支え合い、



片松雅弘

健康で安心して暮らせる町・とういん」と定め、安心の町づくりの推進の中で「縦割り」や「支え手」「受け手」という枠組みを超えた「地域での支え合い」の生活支援体制整備を推進することですが、具体的な推進方法・取り組み状況、地域共生型社会を目指す取り組みの今後の方向性を伺います。

答 福祉部長 平成28年度からは「生活支援

コーディネーター」を社会福祉協議会に配置し、地域の支え合いを推進してきました。また「住民への普及啓発・地域づくりの大切さ」「担い手の育成」「住民の皆さんによる予防・生活支援の仕組みづくり」にも重点的に取り組んできました。

これらの取り組みにより、各地域では「顔の見える、支え合える」関係作りを目指し、笹尾東四丁目を始め、多くの地域でカフェ活動が進んでいます。

具体的には、それぞれの地域に出向き地域の方々と課題や困りごとや何ができるかを話し合う「地域福祉座談会」の開催を推進しています。地域ごとに課題やニーズも異なり、支えあいの進捗状況に差があることは認識しています。

現在23自治会中14自治会で座談会を始めています。それぞれの地域に地域福祉座談会の開催を働きかけると共に、すでに取り組みされている地域支え合い活動の紹介と、先進的な取り組みを町内に情報提供し、普及啓発などに努めます。



玉城町から視察（笹尾東四丁目）

洪水時の防災対策は 充実を図ります



大谷勝治

問

防災対策についてハザードマップを今年新しく各戸配布を行う予定と聞いていますが、町民の皆さんの安全安心を考えると大変重要であると思っております。

災害はいつ来るかわかりません。誰にでも分かりやすく、見やすく、役に立つものを一日も早く配布を期待しています。

引き上げられた堤防決壊水位の明確な対処、対策を伺います。

答

生活部長 ハザードマップの作成については本年度中に作成し、平成31年4月に各戸配布をする予定で現在作業を進めています。

員弁川の浸水想定区域を今回改めるものですが、ハザード面での員弁川改修は三重県で実施していますが、優先順位、費用などから町内の河川改修にはかなりの時間を要する見込みです。

今回の改訂の目的は、町民の皆さんにいち早く避難

行動をとれるように、関係自治会と引き続き連携しながら充実を図っていききたいと考えています。

再質問（一問一答）

問

堤防決壊水位について伺います。各23自治会の避難場所などでは、海拔何メートルの高さにあるのか分かる表示と、桑名河口部の最大満潮水位を提示してください。

避難には最低限知っておかなければならない数値です。

答

生活部長 今回の浸水想定区域図では計画高潮位T.P.（東京湾平均海面）+4.52mです。伊勢湾台風時の桑名地点での最高潮位実績はT.P.+3.15mです。

数値は分かりやすく書き入れ見やすくします。

問

ライフラインである水道水源施設についても堤防決壊による浸水から当然守らなくてはならない大切な施設です。浸水による、水道水源施設への影響を伺います。

答

建設部長 第二水源地での浸水は1mから3m、第一水源では0.3mから0.5mの浸水が想定されます。河川管理者である三重県に対して対策を強く要望していきます。



大社橋左岸の現状

大崎潤子



大豆の製品開発とは

高付加価値の大豆製品です

問 農業を核としたまちづくりは、プロジェクトチームを立ち上げ4月から始まりました。

大豆の付加価値を付けて「儲かる農業」を目指し、農業法人2社の取り組みが始まりました。

今後この事業は、どのように他の農業者へ拡大していきますか。

現在の大豆と新規格のナ

ナホマレの収穫量の見込みを伺います。また製品開発はどのようですか。

「白川町にあればおいしい豆腐が食べられるよ」との宣伝で、大豆の地産地消と雇用づくりに取り組む女性が担う地域の加工会社があります。

6次産業化に向け、どのように大豆製品を町内外にPRしていきますか。

答 総務部参事 多様性のある大豆に着目し、栽培実績のない新しい大豆品種の導入で、付加価値の高い大豆製品の開発と販路開拓事業を進めます。

農業法人2社で5haの実証栽培に取り組み、栽培技術や種子確保を十分に行い、需要ニーズに合わせ、大豆生産農家に普及を図ります。

大豆の収穫量は、過去5年平均で10a当たり58kgと、全国平均と比べると約3分の1です。ナホマレは5年を目途に全国平均並みの収穫量にしたいと考えています。

イベントなどに積極的に参加し「東員町大豆を丸ごと使った大豆製品」のPRに努め、町内飲食店などには、大豆パウダーや豆乳を原料とした商品が生まれるよう働きかけていきます。



食卓で待っています (ナナホマレ)

情報提供は

問

東員駅周辺新市街地整備事業が動き出し、地権者向けのアンケート結果が公表されました。この開発はこれからの50年を見据えた町づくりです。

一般向けのアンケート調査もすべきと考えますがどうですか。

この開発は民間が実施することだからといって情報がなかなか公表されません。町費で調査も実施していただけます。情報提供をしっかりとすべきですがどうですか。

答

建設部長 当然多くの方からの意見をいただくことは重要です。民間事業者へ大まかな計画を、町政懇談会に間に合うよう強く申し出ています。

大豆の6次産業化は 高付加価値の商品を作ります



石垣智矢

問 大豆による6次産業化の取り組みについて伺います。

①最終目標とそこに向かうプロセスはどのようですか。
②販路開拓をどのように考えていますか。
③大豆を本町の特産品にするには、地元根付かせることが大事です。地産地消をどのように推進していきますか。

答 総務部参事 ①農業を核としたまちづくりを実現するために、新しい品種の大豆栽培に取り組み、付加価値の高い商品開発を行います。

また、平成32年度をめぐりに、加工施設の建設に着手し、大豆の生産から加工・流通・販売まで一元的に完結できる事業を目指します。
②町内飲食店を中心に、大豆パウダーと豆乳を提供し、新商品の開発協力をお願いしていきます。
また、食品加工業者などへのサンプル配布により、

顧客の拡大を図っていきます。

③大豆の食育講座などで、おいしい食べ方の情報を提供し、町内の消費拡大を推進していきます。

再質問（一問一答）

問 大豆の生産者拡大に向けて、若い世代の農業者をどのように獲得していきますか。

答 総務部参事 6次産業化の取り組みで新農業の創出を図り、所得向上につなげ、魅力ある農業を若い世代に発信していきます。

火災時の対応は

問 平成28年11月に火災時のサイレン吹鳴が廃止になりました。現在、火災時の町民への対応をどのように考えていますか。

答 町長 町民への火災の周知は、行政メー

ルや桑名市消防本部へ問い合わせをもらうことで確認可能です。

また、強風時の火災は二次災害の可能性も考えられるため、防災行政無線を有効活用し、町民の安全にかなげていきたいと考えています。

再質問（一問一答）

問 火災を未然に防ぐ「防災」の観点から行政無線を使用してはどうですか。

答 町長 インフルエンザの警報など、火災以外では行政無線を使用しているため、火災予防など防災での使用も検討します。



新商品の開発に取り組んでいます

子育て世代包括支援センターは

地域づくりを目指します



川瀬孝代

問 妊娠期から子育て期にわたるまでのさまざまなニーズに対して、総合的支援を提供するワンストップ拠点である「子育て世代包括支援センター」が、児童福祉法等改正で2020年度末までの設置が法定化されました。

子育て世代包括支援センターは、町が実施している子育て支援と何が違いますか。また設置することによって変わりますか。

答 町長 妊娠届けなど機会に得た情報をもとに、相談や個別に支援プランを策定し、保険・医療・福祉・教育などの機関による切れ目のない支援を提供することになります。

町では、健康づくり課が母子健康手帳を交付することにより、家庭の実情を一元的に把握し、相談や訪問保健指導を行い、医療機関などと連携し、必要な支援をしています。

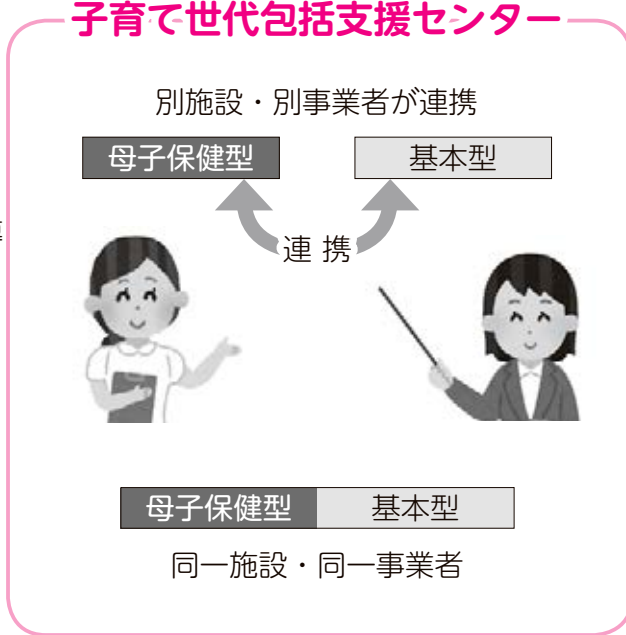
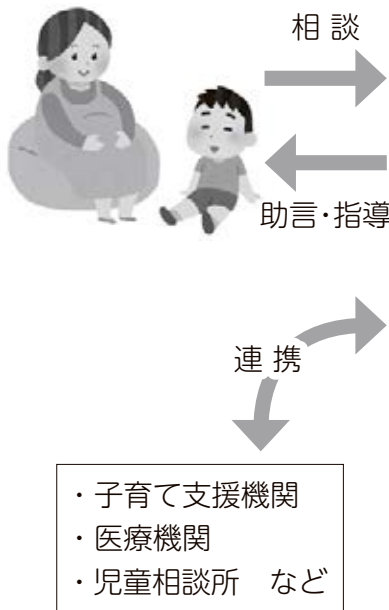
支援が必要な方と連携はとれていると考えていますが、支援対象者の意見を支援プランに反映できるような拡充を図ります。また、子育て世代包括支援センターを、どのように設置するの

か協議していきます。気軽に立ち寄ることができる相談窓口として支援情報が提供できると考えます。地域の子育て支援事業などを提供している関係機関と連携し協働体制をつくる

り、自治会など地域住民を含む地域の子育て資源の開発や育成に努め、安心して妊娠、出産、子育てができる「地域づくり」を目指していきます。

また、検査費用は自己負担です。子育て世帯への経済的軽減として公費助成への考えを伺います。

子育て世代包括支援センター



新生児の健康は

問 言語や知能の遅れにつながる恐れがあるとされている先天性難聴を診断する新生児聴覚検査への見解はどのようですか。

答 福祉部長 早期に適切な援助をすることで効果がえられることから早期発見が重要です。検査を受けるように母子手帳アプリやホームページを活用し、周知しています。また、母子健康手帳での受診状況の把握に努め、適切な指導援助をしています。

予算調整などが必要と考えますが、公費助成に向けて研究していきます。

校歌の変更をしたのは 校長が教育課程編成権で



水谷喜和

問

神田小学校校歌の一部が、いつの間にか変更（削除）されており、卒業生の方々が寂しく感じられています。

校歌の変更は、いつ、どのような審議を経て、変更されたのか理由を伺います。

答

教育長 明治34年「神田尋常高等小学校」として開校し、昭和29年に「東員町立神田小学校」として改称され、その後、昭和48年7月には新校舎を現在の場所に移転しています。

昭和30年に、作詞者佐藤博氏、作曲者太田賢治氏により一番から四番までの歌詞からなる「子どもの歌」として楽曲が提供され、学校への帰属感や連帯感を高めるための「校歌」として歌われるようになりました。

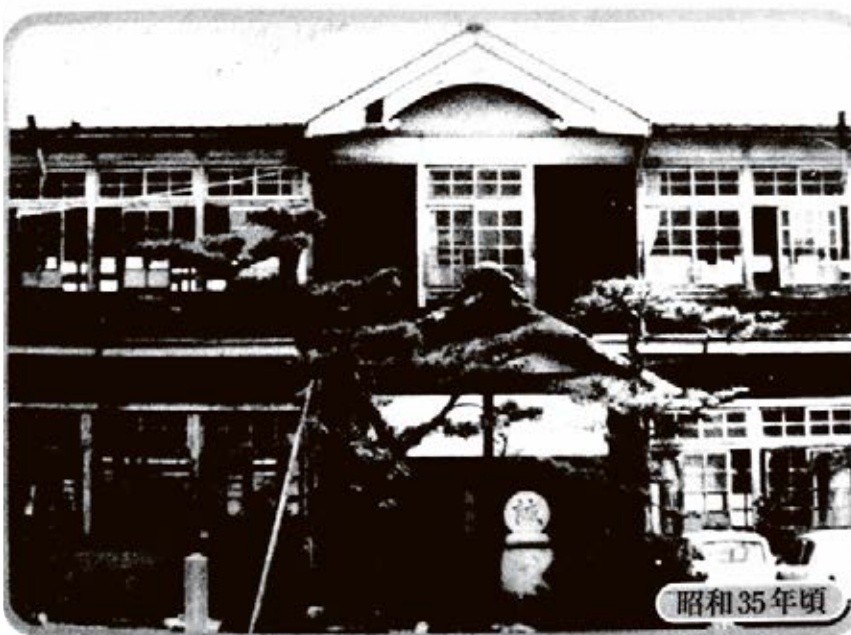
歌詞を変更した理由については、町教育委員会の記録では「校舎の位置や木造が鉄筋造りになり、歌詞の情景に合わなくなった一番と二番を省いて、三番と四番のみ歌っている」と記載

されています。

これらのことから、現在歌われている校歌は新校舎移転時に、歌詞の内容などを考慮した上で、当時の校長が教育課程の編成権の一つとして、現在歌われている校歌の形に決定したものと考えています。

神田小学校校歌
(削除部分)

- 一 歴史も古い笹尾山
松の緑のほほえみが
赤いお屋根に今もなお
昔の光なげている
みんなの神田小学校
- 二 神田の文字がぎざまれた
石の校門白い庭
きょうも仲よくすこやかに
いそしむ笑顔ながめてる
楽しい神田小学校



昭和 35 年頃の神田小学校

石川県かほく市・加賀市

研修日5月29日・30日

議会運営委員会

議会が事務事業評価

議会運営委員会では、議会改革の視察研修をしました。

(1日目 かほく市)

市議会基本条例に基づいて「事務事業評価」を実施していました。



執行部から事業評価シート
の提出を受けて、予算決算
常任委員会や分科会で対
象となる事業を抽出し、執
行部から事業の内容や成果
を聞き取り、現場の視察を
行います。

委員で事業報告書を作成
し、意見交換や課題などを
共有化して評価結果や提言
の取りまとめを行い、次年
度の予算編成に反映させて
いました。

事務事業評価を通して、
職員の資質向上や行政側
の改善への努力がみえまし
た。

議会としては、良い提案
ができるようになったなど
の成果がみえました。

事務事業評価は議会の取
り組みとして必要性を実感
しました。

議会で報告会と条例制定



(2日目 加賀市)

開かれた議会、市民参加
の議会として「議会報告会・

条例制定・政策提言・基本
条例の検証」を実施してい
ました。議会報告会は、議
員が自ら会議の準備や片付
けまで行います。いくつか
の班で構成され、任期は2
年です。

要望などは、調査をして
意見を集約し、市長に文章

で報告をします。また、議
会に對しての意見は委員会
で協議し、内容を議会だよ
りなどで知らせます。

条例制定は、市民の提案
を受けて「ポイ捨て等防止
条例」を制定、地酒の推進
で「乾杯条例」など各委員
会で取り組んでいます。

ペーパーレス化や事業の
改善として「タブレット端
末」を使用しています。議
会改革では、改革度調査で
全国4位になるなど評価さ
れています。

研修では、議会改革を議
会基本条例を基に確実に推
進しています。そして市民
に理解を得られるように工
夫がされていました。

東員町議会では、議会基
本条例の策定に向けて再度
取り組んでいます。

条例の内容を精査し、議
会として何ができるのかを
考えて研修した事を参考と
していきます。

政務活動費は

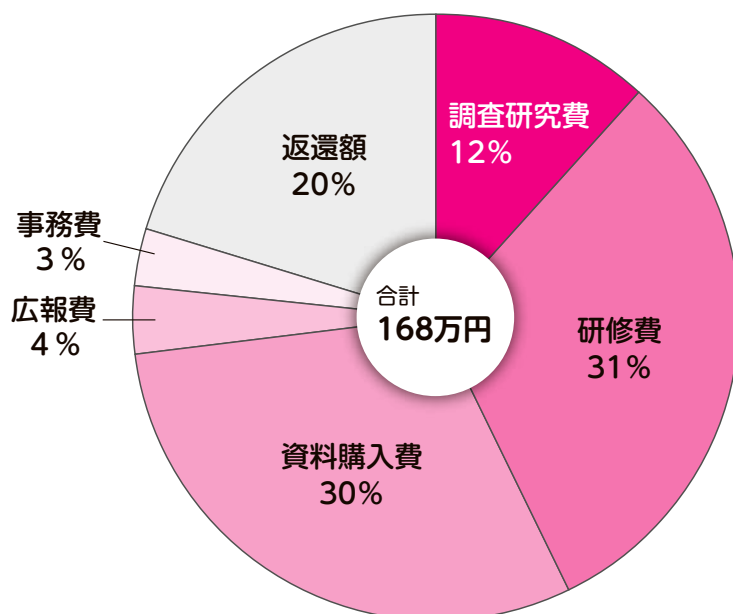
こう使いました

政務活動費は、議員活動に資するため、東員町では条例に基づき、議員1人年間12万円が交付されています。

各議員は、1年分の収支報告書と領収書を全て添付し、詳しい収支内訳書や研修報告書を4月末日までに議長に提出することになっています。

閲覧を望まれる方は、議会事務局までご連絡ください。

項目	内訳	金額(円)
調査研究費	交通費、宿泊費など	200,516
研修費	会費、交通費、宿泊費など	522,157
議会費	会場費、資料印刷費など	0
資料作成費	印刷費、原稿料など	0
資料購入費	書籍新聞雑誌など	505,248
広報費	広報誌、報告書、送料など	64,224
事務費	事務用品、備品、通信費など	49,614
返還額		338,241
合計		1,680,000



「平成30年 議会の動き」は町ホームページの東員町議会に掲載してあります。



議会だよりが「マチイロ」アプリで見られるようになりました。広報とういんも見られます。



追跡

あの質問は どうなったんや？

議員が、過去の本会議で行った一般質問の中から、その後どのように町政に反映されたかを追跡し、皆さんにお知らせします。

こうなりました



保健福祉センター1階に「療育室」を新設するなど、発達支援事業と検診事業の環境整備改修を行い、保健福祉センターの機能向上を図りました。

(平成29年度完成)

建築物の老朽化対策は

Q 保健福祉センターは使い勝手が悪く、建物も老朽化しています。建て替えを含めて検討する時期だと思えます。見解を伺います。
(平成26年3月議会)

A 平成26年度には継続使用、用途の変更・廃止など建て替えも含めて結論を出します。

読者の声

たくさんの感想を寄せていただき、ありがとうございます。

議会クイズ楽しみにしています。なかなか当たらないので今回はあたりますように

城山一丁目 10代 男性

まちの話題を楽しみにしています。東員町の発展を祈らせてほしい。

城山一丁目 60代 女性

東員町内各地桜花らんまん。桜ライブラリー写真がとってもきれいでした。みごとに桜満開で来年は友人を誘って思わず足を運んでみようかなーあという気分になりました。行政以外の情報も伝わりありがとうございます。

笹尾東二丁目 10代 女性

町内の色々な事がよくわかっていろいろと勉強させて貰っています。

大木 80代 女性

議会だよりをいつもじっくりみさせていただいています。東員町の将来像がみえてきて、とてもいいです。

笹尾西四丁目 60代 男性

これからの議会だよりに期待します。

長深 60代 女性

皆さんの声を 聞かせてください

読みやすく分かりやすい「議会だより」の作成に心掛けています。皆さんが読まれてどう思われますか、どう感じますか。

ご意見、ご感想をお聞かせください。

クイズ当選者

今回も多数のご応募をいただき、ありがとうございます。

正解は

問1 大豆

問2 6人

問3 8人

多数の正解者の中から抽選の結果、当選された15人の方に図書カードを贈呈します。

*南大社	太田 善忠様
*長 深	渡辺 みよし様
*長 深	伊藤 美津子様
*長 深	渡辺 和代様
*笹尾西 1	武田 由佳様
*笹尾西 2	横瀬 あさ子様
*笹尾西 3	宮前 房子様
*笹尾西 4	米坂 和郎様
*笹尾東 2	岡本 夢花様
*笹尾東 3	伊東 大貴様
*笹尾東 3	仁井田 恵美子様
*城山 1	城田 友也様
*城山 2	川部 勇一様
*城山 3	高木 玉枝様
*城山 3	永野 久子様

まちの話題

一致団結の消防団

平成30年7月22日に行われる「三重県消防団操法大会」に出場する東員町消防団員。選手は各分団から選抜され、平成30年1月から訓練を始め大会に備え、日々励んでいます。選手の皆さん、応援しています。頑張ってください。



次回の定例会は
平成30年9月3日に
開会予定です。
傍聴、お待ちしております。



こども歌舞伎メンバー

議会広報常任委員会

委員長/三林 浩

副委員長/山崎まゆみ

委員/大谷勝治・近藤敏彦
南部 豊・川瀬孝代

議員の寄附は罰則をもって禁止されており、議員に寄附を求めることも禁止されています。

また、年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。